

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

Table with columns: 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '茨城県バス対策地域協議会参画事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about bus route adjustments and regional council participation.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes a multi-year data table for various metrics from 27 to 31 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs. Columns include 27-31 years (実績/計画/目標) and 期間限定総投入量. Rows include 事業費 (国庫支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

Table for internal costs: 事業費の内訳. Columns for 28年度実績 (千円) and 29年度事業費 予算 (千円). Includes a total row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content. Columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note about recording content by year and a list of main activities.

事務事業名	茨城県バス対策地域協議会参画事業	事務事業No.	40604000293	所属課	企画課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成14年2月1日の道路運送法の改正され、路線バスの廃止によって、生活交通の確保が困難となる地域については、都道府県を中心に当該地域の関係者で構成される地域協議会を設置し、地域の実情に応じた生活交通確保方策について協議することとなった。
平成20年4月1日から、移動制約者の移動手段確保と地域に点在する交通空白地域の解消を図るため、「桜川市デマンド型乗合タクシー」を導入した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

平成22年3月、関東鉄道株式会社より、路線バス(真壁駅~土浦駅路線)について、22年度末で廃止したい旨、通知があった。
その後、22年8月3日茨城県バス対策地域協議会分科会が開催され、関東鉄道株式会社が運行する路線(真壁駅~土浦駅路線)の廃止は確定した。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	公共交通サービスの確保のための事業であり、結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	公共交通サービスの確保は市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠であるため、公共の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	路線廃止の主な理由が不採算であるため、協議による路線存続の可能性は極めて低い。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	乗合バスの路線退出等に係る生活交通確保方策について協議する場を失う。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	廃止バス路線の協議の場は他にないため、統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費はゼロである。 最低限の人員で最低限の事務を行っているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	公共交通サービスの確保のための事業であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	桜川市の民間バス路線は全線廃止となっているため、現状では参画の意義が見受けられないものの、今後公共交通の再編を協議するに当たっては、引き続き協議会への参画は必要である。																													
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持		○																												
低下	維持																														
	低下																														
		(6) 事務事業優先度評価結果																													
		成果優先度評価結果																													
		コスト削減優先度評価結果																													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>